

ふれあい

Fukuseikai Hospital
Public relations magazine

Vol.55
2022年
秋号

福西会病院広報誌

ご自由にお持ち帰りください。

◎ 特集 ◎

肛門外科インタビュー



福西会ニュース

院外講座「頭部外傷・脳卒中」について
「お薬の飲み方」について

運動器力テーテル治療
(TAME治療)を始めました

部署紹介

6階病棟の紹介

栄養ニュース

『果物』について

NEW!! 新連載

山を愛する
アラ還
登山日記

TOZAN NIKKI

くじゅう連山・秋の紅葉 編



ホームページ

QRコードでアクセスできます。

<https://fukuseikai-hp.com>



肛門外科部長

谷村 修

Syu Tanimura



肛門外科医師

別府 理智子

Richico Beppu



※撮影時のみマスクをはずしています。

福西会病院の肛門外科は男性医師1名、女性医師2名(内1名育休中)の専門医が在職し、治療にあたっています。

全国でも数の少ない女性専用の肛門外科外来(完全予約制)での診療も行っており、

■ 当院の肛門外科を受診する患者さんには、どのような方が多いですか？

谷村:年齢層は幅広く、10代～90代の患者さんを診ています。当院の他の診療科では高齢者の割合が多い科がほとんどではないかと思いますが、肛門外科に関しては特に世代ごとの差はありません。

男女比は疾患により異なります。痔瘻に関してはほぼ男性である一方、直腸粘膜脱は女性に多い傾向があります。痔核などはほぼ半々です。

別府:女性外来でも幅広い年代の方を診ていますが、割合としては20代～30代の若い世代が多いです。症状も患部の痒みや治療の必要がない痔など、軽症の方が比較的多いです。女性専用の肛門外科というのはまだまだ少なく、女性でも受診しやすい病院をインターネットで探した結果当院にたどり着いたというケースが多いようで、遠方から来られる方もいます。

■ 様々な疾患に対応していると思いますが、その中でも当院肛門外科が得意としている疾患は何ですか？

谷村:手術の件数で言えば男性の痔瘻が圧倒的に多いです。特に深部の痔瘻手術などは全身麻酔で行うことも多く、麻酔科医が常駐している病院でないと難しいこともあり、地域クリニックの先生方からのご紹介をたくさん頂いております。

肛門外科部長

谷村 修

Syu Tanimura

指導医・専門医・認定医など

Profile

◎日本外科学会専門医・指導医
◎日本大腸肛門病学会専門医・指導医
◎日本消化器外科学会専門医・指導医
◎日本消化器内視鏡学会専門医
◎日本医師会認定産業医
◎消化器内視鏡学会指導医
◎日本大腸肛門病学会九州支部評議員

■ 当院で行う痔瘻の治療とはどのようなものですか？

谷村:手術は基本的に膿瘍を伴うものであれば2回に分けて行います。1回目の手術では患部を切開して排膿を行います。それからしばらく間をあけて炎症が消退した後に、2回目の痔瘻手術を行います。痔瘻根治手術の種類はいくつかありますが、当院では術後の肛門の機能障害が少ない括約筋温存手術をメインに行っています。

別府:手術は1回でできなくもないのですが、傷をきれいに治すことや感染・再発のリスク軽減のために、当院では2回に分けて行っているのです。1回目と2回目のインターバルは患者さんの社会生活に応じて変わりますが、大体1～2か月ほどになることが多いですね。

患者さんの羞恥心には十分に配慮して診察を行っています。

老若男女様々なお尻の症状でお悩みの方が訪れています。

今回の特集では育休中の医師を除いた2名の医師にインタビューを行い、当該

診療科の特徴などを語ってもらいました。

■ 肛門外科での診察には抵抗があるという方も中にはおられると思いますが、当院での診察はどのように行われますか？

谷村:第一に、患者さんの羞恥心には十分に配慮して診察を行うようにしています。女性外来の予約でない場合には私が女性の患者さんを診ることもあります。その時は必ず女性の看護師についてもらうようにしています。

別府:上からタオルを掛けて、なるべく患部以外の場所が露出しないように気を付けてもいます。診察室は一番奥の離れた場所にあり、診察中は更にカーテンで仕切りますので、通りかかった医者や看護師に見られることもなく、なるべく患者さんに安心して受診していただけるような環境づくりに努めています。

また、女性外来では予約の時点から全て女性スタッフが対応し、診察の時間帯を区切って男性が待合室に入らないように配慮しています。

女性でも受診しやすい病院を求めて来られる方も多いです。

■ 患者さんの羞恥心に対して十分配慮されていることが分かりました。では、それ以外での特徴はありますか？

谷村:診断から手術までしっかり行い、その後のフォローも患者さんが納得するまでとことん付き合うところです。患者さんご自身からは患部が目視できませんので治療の経過が分かりにくく、不安に思われる方も中にはいらっしゃいますが、「もう治っているから大丈夫です」と突っぱねることはせずに、患者さんの不安が無くなるまで診察を継続するようにしています。

別府:大病院とクリニックの双方から患者さんを紹介していただけているのも特徴と言えますね。この辺りの大きな病院では肛門の専門科自体がなく、逆にクリニックなどでは先の話でも出ましたように麻酔の専門医などがない場合が多いので、その両方を備える当院での手術を依頼されるケースは必然的に多くなります。

肛門外科医師

別府 理智子

Richico Beppu

指導医・専門医・認定医など

Profile

◎日本大腸肛門病学会専門医・指導医
◎日本外科学会専門医
◎日本消化器外科学会専門医

肛門外科インタビュー

■ 当院の他の診療科や肛門外科内ではどのような連携を行っていますか？

別府:他の診療科に比べると肛門外科内で完結することも多いですが、検査や治療の過程で他診療科の助けが必要な場合は勿論そちらで診ていただくようにします。肛門外科に限ったことではありませんが、ペースメーカーを埋め込まれている患者さんに手術を行う場合等は、循環器科の医師に相談を行います。肛門外科医同士の連携についてですが、いつも二人で手術に入りますので手術対象の患者さんの情報は勿論共有していますし、それ以外の患者さんについても治療方針などに悩むときは相互に相談を行い、助け合うようにしています。

谷村:医師同士が相談しやすい雰囲気があるのは、肛門外科に限らず当院全体の特徴かもしれませんね。

■ 今後の展望は？

谷村:今までもそうでしたが、今後も患者さんが最後まで納得できるような診察を心掛けていきたいです。そして地域クリニックの先生方がお困りの際にまず頼っていただけるような、福岡市における肛門外科の基幹病院になりたいです。ありがたいことに現在も周辺の開業医の先生方から多くのご紹介を頂いておりますが、今後も地域クリニックとの連携を強化し、貢献できるようにできれば良いなと思っております。

別府:女性外来においても、「お尻に関する各種症状で困っているけれども、肛門外科への受診には抵抗があり悩んでいる」という女性の方たちが、今まで以上に気軽に相談できる体制を取れるようにしていきたいです。現在女性外来については私一人で診察を行っておりますが、育休中の女性医師の復帰後は診察の幅をますます広げていくことができると思います。



外来担当医師をご確認ください。

■ 外来担当表

午前	月	火	水	木	金
	谷村 修	谷村 修	別府理智子(女性医師)	※荒木 靖三	谷村 修 別府理智子(女性医師)
午後	月	火	水	木	金
	(別府理智子)(女性医師)	手術日	(別府理智子)(女性医師)	(谷村 修)	(別府理智子)(女性医師)

第2土曜日 AMのみ】別府 理智子
※印は非常勤医師



肛門外科部長

谷村 修

Syu Tanimura

Profile

【肛門外科を選択したきっかけは？】

元々は消化器外科が専門で、福西会病院でも消化器外科医として勤務していました。しかし、お尻の症状で悩んでいる方の多さに対して肛門外科医の数が非常に少ないことより、現在専門として行っています。

【この診療科のやりがいとは？】

自分の手術手技が完全に治療結果として反映されるところにやりがいを感じます。骨や内臓と違い直接自分で経過を確認できるため、成果を実感しやすいところも魅力の一つです。治療が上手くいき、患者さんから感謝の言葉を頂いたときの達成感はたまりません。

【休日の過ごし方や趣味は？】

最近の趣味はジョギングです。以前はサイクリングもよくしていましたが、今度の福岡マラソンに出場する予定もあり今は専ら自分の足で走っています。休日も大体ジョギングか、犬の散歩をして過ごしています。

【患者さんに一言】

当院は救急病院ですので、緊急の際は24時間対応可能です。手術が必要な患者さんも全て受け入れております。力になれると思いますので、お困りの際はいつでもどうぞ。



肛門外科医師

別府 理智子

Richico Beppu

Profile

【肛門外科を選択したきっかけは？】

今のように研修医のローテーションがなかった時代、外科系の診療科の方がより医者としての技術の幅が広がるのではないかと考え外科に入局し、様々な器官の外科的症候を診察しておりました。そこではお尻の症状を訴えられる女性患者さんもおり、「同性の先生に診てもらえてよかった!」と仰っていただくこともありましたが、当時の私は肛門疾患に関して専門外であり、自分としては患者さんに満足いく説明ができていないように思い肛門外科での勉強を始めました。その時に肛門外科がとても多くの人に必要とされていることや、ただでさえ少ない肛門外科医の中でも女性医師はわずしかいないことを知りました。大学病院勤務時代の教授が「女性医師による女性専用外来の重要性」を提唱されていたこともあり、女性の患者さんでも気軽に相談できるような肛門外科医を目指したいと思うようになりました。ちなみにその教授と言うのは当院の現院長 山下裕一先生です。

【この診療科のやりがいとは？】

前述の通り女性の肛門外科医はとても少ないので、中々受診に踏み切れずにいた女性患者さんから「やっと診てもらえる人に出会えた」と言われて満足してもらえたときなどはとてもやりがいを感じますし、この道を選んでよかったと思えます。

【休日の過ごし方や趣味は？】

普段の休日は溜まった家事をやり終えた後、ゴロゴロして日頃の疲れを癒やしています。長期の休みがとれた時は旅行先で食べ歩きをよくしていました。色々な県や国を食べ歩きましたが、その中でもインドは特に印象に残りました。手でカレーを食べる経験も初めてしましたし、他の料理もすごくおいしかったです。お腹は壊しましたが、とても面白い国でした。

【患者さんに一言】

当院肛門外科は女性医師も男性医師も常勤しております。お尻の症状でお悩みの方は男女問わず、ぜひご相談ください。

※女性外来をご希望の方は予約制になります。詳細はホームページをご覧ください。



福西会病院女性外来 ホームページ

院外講座

■地域医療連携室

「頭部外傷・脳卒中」について

◎2022年9月9日(金)
◎飯原公民館にて

講師:脳神経外科部長 不破 功

頭部外傷は打撲直後に症状が出るもの、1～3か月後に徐々に症状が出るもの、など様々な種類があります。そのため、頭を強く打った時は早めの受診・検査をお勧めします。

脳卒中は脳梗塞・脳出血・くも膜下出血の3つに分類されます。要介護になる主な原因の一つで、高齢者にとって無視できる病気ではないことがデータによって明らかになっています。講座の中で、脳卒中を予防するには生活習慣や食習慣の見直し、無理のない範囲での運動が大切との話がありました。

今後も感染防止策を講じながら、地域の皆さんにより良い情報を届けられるよう尽力したいと思います。



「お薬の飲み方」について

◎2022年9月14日(水)
◎飯倉公民館にて

講師:薬剤部長 緒方 雅章

初めに病院薬剤師の仕事や正しい薬の飲み方など、皆が知っているようで意外と知らない内容に、参加された方々は熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

また、年齢を重ねるごとにどうしてもお薬の種類が増えてしまい、飲み忘れることが多々あると思います。講座では、服薬カレンダーやチェックシートを利用する、食事の際にお薬も準備しておくなど、習慣化することが飲み忘れ防止に繋がるというアドバイスがありました。ぜひ皆さんも取り組んでいただきたいと思います。

今回は飯倉公民館「ハロー教室」のお時間をお借りし、第1部・2部合わせて42名と大変多くの方に参加していただきました。また参加者だけでなく公民館の方々も感染対策に協力していただき、安心して開催することができました。

今後も健康に関する情報を地域に積極的に発信していきたいと思います。



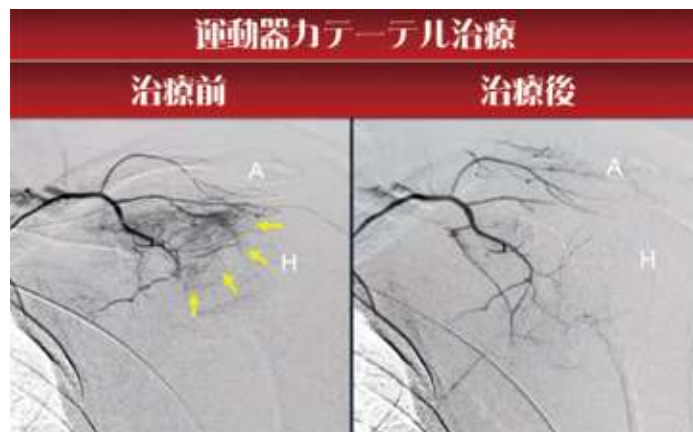
運動器カテーテル治療(TAME治療)を始めました。 ■放射線科

運動器カテーテル治療(TAME治療)とは、一般的に整形外科やペインクリニックでおこなわれている「ヒアルロン酸注射」や「ブロック注射」とは異なります。この治療は、痛みの原因となるモヤモヤ血管*ができていない部位に足の付け根(鼠径部)や手首からカテーテルを挿入して、異常な血管を減少させる薬剤を直接注射し塞栓します。

※モヤモヤ血管とは

モヤモヤ血管とは、痛みの原因部位にできる「異常な血管」のことです。近年、人間の体には生命を維持するのに欠かせない「正常な血管」だけでなく、病気の原因となる「異常な血管」もあることがわかってきました。

特に肩こりや五十肩、腰痛、ひざの痛みをはじめとした、治りにくい関節の痛みには、そのような異常な血管(いびつな構造でモヤモヤとして見えるため、モヤモヤ血管と呼んでいます)が存在することが様々な研究で確かめられています。



※引用:詳細:医療法人社団 祐優会 Okuno Clinic.ホームページ

6階病棟の紹介

患者さんが一日も早く、住み慣れた生活の場へ戻れるよう
チーム一丸となって職務に励んでいます。各自が幅広い知識と
柔軟な対応力で
患者さんが安心できる
入院生活をサポートします。

6階病棟は、循環器内科や腎臓・呼吸器・脳神経内科など内科の患者さんを多く受け入れている病棟です。看護師34名、ナースエイド8名で、日々患者さんが安心して入院生活が送れるように、力を合わせ笑顔で業務に取り組んでいます。

疾患としては、心筋梗塞、心不全、腎不全、肺炎、肺がん、脳梗塞などの急性期の患者さんが入院されます。循環器内科では心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術、腎臓内科は体液コントロールや透析導入、呼吸器内科は肺炎や肺がんの化学療法、脳神経内科では脳梗塞やパーキンソン病などの細やかな薬剤調整を行いながら全身管理を行っています。また、入院という環境の変化や医療機器使用により認知機能の悪化やせん妄が出現する患者さんも多いです。そのため、幅広い知識や様々な状況への対応が求められますので、急性期病棟として質の高い、安心・安全な医療の提供はもちろんのことですが、スタッフの強みを

生かし、チーム力を上げ、患者さん一人ひとりに心を込めた、丁寧な看護の提供をしていくように心掛けています。

社会的に高齢化が問題になっていますが、当病棟の患者さんの平均年齢も80歳を超えています。特に心疾患では、確実な内服管理や塩分制限、体重コントロールが重要となりますが、老老介護、認知介護などで十分なサポート、管理ができず入院される患者さんも少なくありません。入院時より疾患だけでなく生活背景などを踏まえて、多職種チームにてアセスメントし、日々の看護に取り組み、手技の指導、服薬指導、内服指導、生活指導などに力を入れています。

患者さん、ご家族の思いに寄り添い、患者さんが住み慣れた生活の場に一日でも早く戻れるように、そして退院後も安心して療養できるように多職種と連携を図りながら退院支援を行っています。

職員インタビュー

看護師 主任
しみず りえ
清水 理恵 さん

病態のステージに合わせた支援から終末期ケアまで幅広く関わらせて頂いています。患者さんが安心して住み慣れた場所で自分らしく療養するためには、ご家族や地域のサポートが必要となります。自立支援や退院指導、地域へつなげる看護が提供できるようスタッフと一緒に取り組んでいます！

スタッフみんなで協力して
よりよい看護の提供を
目指します。看護師 副主任
たけわ しんじ
竹輪 真司 さん

患者さんが入院生活から退院後の生活に戻るためのケアや指導においてどのような必要があるのかを考え、他職種スタッフと話しながら、退院後の生活への不安が少しでも無くなるよう努めています。また、副主任になって3年目になりますが、人材育成の難しさを感じながら個々に合わせた指導や多忙なスタッフのストレス緩和にも努めていこうと思っています。

みんなが働く上で
よりよい環境を作ることが
良質な患者ケアに
結びつく信じています。

栄養ニュース

第45号

栄養管理科



読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、秋を表す言葉はいくつかありますが、『食欲の秋』という言葉がある通り、秋は食べ物を美味しくいただける季節です。秋の食材といえばきのこ類や旬のお魚、熟した果物を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。今回は『果物』に含まれている栄養素や食べる際の注意点、秋に食べたいおすすめの果物についてご紹介します。



果物と野菜の違い

果物と野菜、どちらもビタミン・ミネラル・食物繊維を多く含んでいますが、それぞれ種類が異なります。(※表1)
また果物は野菜と違って果糖を多く含んでおり、野菜の約2倍のエネルギー量があります。
毎日とりたい果物ですが、野菜の代わりにとるのは避けましょう。

◎野菜と果物の栄養成分の違い(表1)

	野菜	果物
水分量	85～95%	80～90%
糖質		果糖、ブドウ糖
食物繊維	セルロース、ペクチンなど	プロトペクチン、ペクチン
ビタミン	ビタミンA、ビタミンC、ビタミンB1 ビタミンB2、葉酸、ビタミンE	ビタミンC
ミネラル	カリウム、カルシウム、鉄	カリウム
有機酸(※1)		クエン酸、リンゴ酸、酒石酸

※1:有機酸とは酸性の有機化合物の総称で、身近なものでいうと梅干しなどに含まれるクエン酸や、お酢に含まれる酢酸などがあります。

果物を食べると太る?

近年、果物は品質改良によりますます甘みを増しており、甘い=エネルギーが高いというイメージがあるため「果物を食べると太る」と思われている人もいますが、それは間違いです。果物は水分量が80～90%と多く、脂質が少ないため同量のスイーツやデザートに比べ、低カロリーです。
缶詰や果汁100%のジュースも果物の部類に含まれますが、シロップ漬けの缶詰やフルーツジュースは、食物繊維がほぼないうえに果糖が足されているので、摂り過ぎには注意が必要です。

果物と糖尿病の関係について

果物に含まれている食物繊維の多くはペクチンなどの水溶性食物繊維です。水溶性食物繊維には、消化管の中で糖質の吸収を遅らせ、血糖値の急激な上昇を抑えるはたらきがあります。また果物に多く含まれる糖質は果糖といい、ブドウ糖とは違って果糖自体が直接的に血糖値を急上昇させることはありません。(※2) しかし果糖は吸収されると、その10～20%が中性脂肪や血糖値を上昇させる原因となるブドウ糖に作り替えられてしまうため、食べ過ぎには注意する必要があります。
つまり果物は適量であれば、食物繊維をはじめとした果物の栄養素が糖尿病にプラスの効果をもたらしますが、過剰量であれば血糖値を上げるリスクになります。

※2:血糖値とは「血液中に含まれるブドウ糖の濃度」のことで、ブドウ糖は直接的に血糖値を上げます。

果物のとり方

果物は一日にどれくらいの摂取が適量なのでしょう。
厚生労働省・農林水産省が策定した『食事バランスガイド』によると、一般成人が一日にとる果物の目安の量は200gとなっています。みかんや柿、ももなら2個、バナナなら2本、りんごや梨なら1個、ぶどうなら1房が目安になります。(糖尿病の方はこれらの半分の量が適量となります。ご注意ください。)
しかし日本における果物の消費は年々減っており、日本人の約80%が摂取目安に到達できていません。

☆次に秋の味覚といわれる果物をご紹介します。

柿

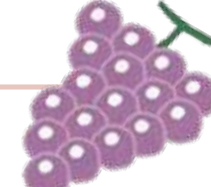
旬:9～11月



柿1個に含まれるビタミンCの量は約112mgです。
成人におけるビタミンCの推奨量は1日あたり100mgなので、1個で補うことができます。また柿に含まれる、β(ベータ)クリプトキサンチンというだいたい色の色素成分には抗がん作用があるといわれ、抗酸化作用が強いビタミンCとの相乗効果による、がん予防効果も期待されています。

ぶどう

旬:8～10月



ぶどうの糖分は素早くエネルギーに代謝されるので、即効性の疲労回復効果があります。
ぶどうに含まれているポリフェノールは抗酸化作用があり、生活習慣病予防に役立ちます。その中でもアントシアニンは目の疲れや糖尿病による目の病気、視力回復に繋がる役割を果たす成分として注目されています。

梨

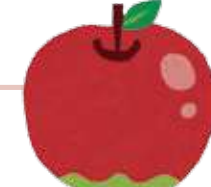
旬:9～10月



梨には、脂質やデンプンの劣化を防ぐソルビトールという天然の甘味料が含まれており、腸内環境を整えるはたらきが期待できます。またアスパラギン酸などのアミノ酸やクエン酸、リンゴ酸などの有機酸も豊富に含み、疲労回復にも効果があるといわれています。

りんご

旬:8～11月



りんごには水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の両方が含まれており、中サイズ(250g)のりんご1個では食物繊維量は約4.5gも含まれています。不溶性食物繊維は腸の動きを活発にし、便のかさを増やして排便を促すので便秘の解消に役立ちます。水溶性食物繊維は乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌のエサとなり、お腹の調子を整えるはたらきがあります。

Point

柿は、干し柿にすることにより甘みが4倍に増します。それだけでなく、βクリプトキサンチンが4倍、食物繊維は100gあたり14gと果物の中でもトップクラスになります。しかし柿が豊富に含んでいるビタミンCはほとんど失われるので注意が必要です。

また、ぶどうに含まれるポリフェノールなどの栄養素の大部分は皮に含まれています。そこで干しぶどうにすることで皮ごと食べられるうえに、100gあたりカリウム740mg、カルシウム65mg、鉄2.3mgといった豊富なミネラルをとることができます。

今回紹介しきれなかった果物もまだまだあります。
この機会にぜひ、ご家庭の食事に果物を一品付け加えてみてはいかがでしょうか。





知るとうれしい♪

リハビリニュース

サルコペニアについて

サルコペニアとは、骨格筋量(筋肉量)の低下と筋力低下を意味します。近年、有病率が高まり様々な健康被害の原因となっていることでテレビや雑誌でも取り上げられる機会が多くなったため、耳にしたことがある方も多いと思います。筋力は40-50歳代から緩やかに低下し始め、手よりも足の弱化が目立つといわれています。サルコペニアはこの自然な筋力低下がより加速した状態を意味します。

では具体的に、サルコペニアはどのような特徴があるのか?どのようにして予防するのか?を今回はご紹介していきます。

いつでも
どこでも
レッツ
チャレンジ♪



リハビリテーション科
課長
土屋 恵陸

サルコペニアの方に多く見られる特徴

65歳以上

やせ形で手足が細い

歩く速度が遅くなってきたと感じる

階段を上るのがしんどいと感じる

瓶やペットボトルの蓋が開けにくくなったと感じる

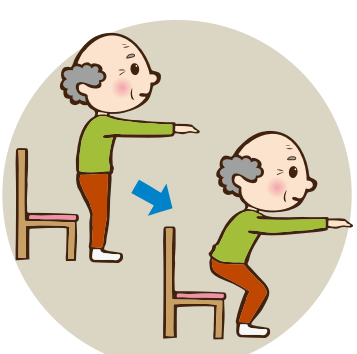
思い当たる方はサルコペニアになる可能性があります。

新型コロナの感染拡大も重なって、積極的な外出がしにくいご時世ですが、適切なエネルギー摂取と軽めの運動を反復して行う事で予防や改善ができます。

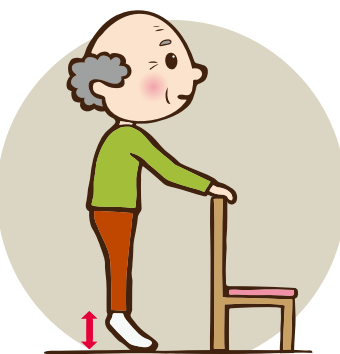
では最後に簡単な運動方法をご紹介して終わりにします。



もも上げ
ゆっくり20回



ハーフスクワット
ゆっくり10-15回



つま先立ち
ゆっくり20回

注意

回数は運動後の疲れ具合に合わせて調整してください。

軽い運動でも反復して行えば効果が十分あります。

◎壁や椅子の背で体を支えて運動してください。

◎特にハーフスクワットは後ろに椅子を置いておくことで転倒防止に役立ちます。

アラ還 登山日記

NEW!! 新連載

くじゅう連山・秋の紅葉編

登山とキャンプをこよなく愛する
アラ還事務職員 S.B

TOZAN NIKKI

2022年9月のある日、広報委員会の方から連絡があり、「広報誌『ふれあい』に載せる記事を書いてくれませんか?」とのこと。

予想していなかった依頼で少々驚きましたが、そのテーマは私が趣味としている登山のことで構わないというので、常日頃歩いている山の話を書いてみようと思った次第です。

掲載は「ふれあい」秋号ということで、発行時期に合わせて、以前に登ったくじゅう連山・秋の紅葉について、写真と共に当時の記憶を簡単につづってみました。



おとな ぶんぶ
▲大鍋の鞍部



▲三俣山 直登登山道



◀三俣山
西峰から見た大鍋



▲大鍋の底から見た斜面

2019年10月下旬、真っ赤に燃えるような紅葉を見に行こうと妻と連れ立って、くじゅう連山の中でも紅葉で有名な三俣山(みまたやま 標高1,745m)に行きました。

朝一番、大曲登山口を出発し、諏蛾守越(すがもりごえ)の三俣山登山道に取り付き、急な斜面と格闘すること約50分、三俣山西峰の山頂標識が見えてきました。その先から大鍋(古い噴火口跡)を覗くと、モミジ・ドウダンツツジの赤、カエデ・シロモジなどの黄色や木々の緑のグラデーションが素晴らしく、見事な紅葉の絨毯が広がっていました。

本峰を過ぎ斜面を下り、大鍋の底に降りてみましたが、そこから見上げた紅葉に彩られた山の斜面と、その先にある透きとおるような青い空とのコントラストを眼にした時は、本当に感激しました。三俣山の紅葉と澄み切った秋の空気を、たっぷりと満喫できた山歩きでした。



◀長者原
ヘルスセンターの
とり天定食

下山後は長者原ヘルスセンターの食堂で、お決まりコースで「とり天定食」に舌鼓(これがまた美味しいんです!!)を打って帰路につきました。

足を運ぶ度に思うのですが、三俣山大鍋の紅葉は素晴らしいと思います。また、くじゅう連山の中でもう一つ、大船山(たいせんざん)の紅葉も圧巻です。

その年の夏の気候や登ったタイミングによっては、紅葉していない(終わっている)ケースもありますので、絶景に出会ったときの感激はひとしおです。

是非一度、足を運んでみてください。



LINE公式アカウントを
開設いたしました



福西会病院からの各種ご案内等を中心にお届けいたしますので、ぜひお友達登録をお願いいたします。



アクセスは
こちらから

YouTubeチャンネルを
開設いたしました



楽しくてためになる動画を追加していきます。ぜひチャンネル登録をお願いいたします。



アクセスは
こちらから

午前・午後の 診療担当医のご案内

幅広い
時間で
受診可能

詳しくはホームページで検索

福西会病院

検索



専門外来も午後に受診できます

要ご予約

睡眠時無呼吸症候群外来・アレルギー外来・
嚥下機能外来・フットケア外来

交通アクセス

公共交通機関

地下鉄七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)
西鉄バス 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速から

野芥ランプから 【内回り】福岡高速5号線・野芥ランプより、
外環状線を直進「野芥口」交差点を越え側道へ…約3分
【外回り】福岡高速5号線・野芥ランプより
外環状線を直進「野芥口」交差点右折……………約1分

福西会病院 パーキングマップ

P 福西会病院の駐車場は周辺に第1、第2、第5があります。
※地下駐車場は、廃止となりました。



医療理念

誠実で信頼される医療

基本方針

1. 救急病院として地域社会・地域医療に貢献します
2. 患者さんと共に安全・安心なチーム医療を行います
3. 積極的な医療・介護連携を目指します
4. 医療人として常に自己研鑽をします

患者さんの権利

1. 個人としての人権が尊重される権利
2. 質の高い医療を公平に受ける権利
3. 真実を知る権利、または、真実を知らされない権利
4. 病状や医療内容について、十分に説明を受ける権利
5. 医療行為を、自分の意思で選択する権利
(セカンドオピニオンを受ける権利)
ただし、医学的に不適切な医療を求める権利はありません。
6. 医療情報の開示を求める権利
7. 個人情報保護される権利

患者さんの責務

1. ご自身の状態やその変化など正確な情報を
医療従事者へ報告する責務
2. 治療に必要な医療上の指示を守る責務
3. 病院の規則を守り、快適な医療環境を維持する責務
 - 禁酒、禁煙
 - 他の患者さんへの迷惑行為の禁止
 - 職員への暴言・暴力・セクハラ・業務妨害などの禁止
4. 自己負担金を支払う責務



「健康経営」の促進を目的として、
優れた健康経営の取り組みを行っている事業所を
経済産業省が選定・認定する制度「健康経営優良法人」において、
当法人が2年連続で大規模法人部門に選ばれました。